

地域の防災力を高める ～地域の防災力向上のための研修を実施しています～

泉佐野市では、地域の防災力向上のため、今年も避難所担当の市職員を対象とした「地域防災支援員研修」と、市主催の防災士養成講座による防災士資格取得者等を対象とした「防災士フォローアップ研修」を開催しました。その様子をご紹介します。

問合先 危機管理課

地域防災支援員研修

市職員の避難所担当が、避難所運営の知識や資機材の取扱などを身に付ける研修として、「令和7年度 地域防災支援員研修」を7月25日(金)に中央小学校およびエブノ泉の森ホール駐車場で開催しました。

研修では、各地域防災支援員を避難所運営における数個の班に区分し、それぞれ担当する避難所資機材の取扱やマンホールトイレの設置方法を学んでももらいました。

また今回の研修には、今年4月1日に発足した泉佐野市消防団国際分団(多言語サポートチーム)の団員4人にも参加してもらい、「見たことがない備品ばかりであったが、説明を受けることにより使い方が理解できた。」という意見も聞くことができました。

災害発生時にも多言語でサポートができるよう態勢づくりに努めてまいります。



防災士フォローアップ研修



市主催の防災士養成講座による防災士資格取得者などに対し、災害時に役立つ情報を知り地域の活動に生かしていただくため、「令和7年度 防災士フォローアップ研修」を7月26日(土)に中央小学校で開催しました。

今回の研修では、避難所運営ゲーム(HUG)を使い、避難所運営の模擬体験をしてもらいました。この際、近隣の防災士相互の親交を育てるため、同じ校区の人でチームを組んでもらいゲームを進めました。

また、研修後半には令和6年能登半島地震において珠洲市で活躍した本市の災害用トイレトレーラーの展示も行いました。

防災士は地域の防災活動や避難所運営など地域防災には欠かせない存在であることから、毎年研修を行い、地域防災力の向上を図ってまいります。

